

## 第 2 回秩父市総合教育会議議事録

期 日	平成 27 年 8 月 19 日 ( 水曜日 )
時間・場所	14 時 55 分～15 時 45 分・秩父市歴史文化伝承館 2 階庁議室
出席者	<p>久喜市長、新谷教育長、新井(康)教育委員、山中教育委員、久保教育委員、新井(正)教育委員</p> <p>市長室長、地域政策課長、地域政策課主査、地域政策課主事</p> <p>教育委員会事務局長、教育委員会事務局次長 2 名</p> <p>傍聴者 1 名</p>
会議内容	<p>○議事</p> <p>(1) 秩父市教育大綱について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 回総合教育会議での意見をまとめ、教育大綱（案）を作成した。国の教育振興基本計画、市の学校創造スーパープランも参考になっている。(事務局)</li> <li>・教育大綱の対象期間は何年を想定しているか。(新井正教育委員) <ul style="list-style-type: none"> <li>→5 年間。一体的に策定する秩父市総合振興計画が平成 28～37 年度までの 10 年間の計画となり、その前期計画に対応する。(事務局)</li> </ul> </li> <li>・基本理念の「秩父に住み続け」は少し重たく感じる。就職の都合で秩父に住みたくても住めない人もいる。一旦秩父を出て、また戻ってくることを想定し、「愛着」くらいの言葉でゆるくしてもよいのではないか。(久保教育委員) <ul style="list-style-type: none"> <li>→逆に力強く受け止めてもらえるかとも思う。理念でもあり、高い目標という意味でこれでもよいと思う。(新井康教育委員)</li> <li>→雇用状況を見ると、現実的に秩父ですっと住み続けるのは難しいと思う。いつか戻ってくるのもよいというニュアンスにするのもよいと思う。(山中教育委員)</li> <li>→秩父に住み続けてもらうことは、行政としての目標であり使命だと思う。行政を司る者として、理念として持っているべきと考えるが、言葉として少しやわらかくしてもよい。(久喜市長)</li> </ul> </li> <li>・基本方針の中に「基礎学力の向上」という言葉を入れてもらいたい。基礎学力は生きる力に通じるものである。(久喜市長) <ul style="list-style-type: none"> <li>→そもそも学力というのは基礎・基本のみならず、学ぶ姿勢や様々な知識・技能も含まれる。どのような力を身に付けさせるのか共通理解が必要である。(新谷教育長)</li> <li>→基礎学力は学力全体のベースラインとなる。(久喜市長)</li> </ul> </li> <li>・基本方針 4 に「教育委員会による教育環境づくり」とあるが、教育委員会が関わる部分がここだけとの印象を受ける。「教育委員会による」は削除してもよいのではないか。(新井康教育委員)</li> </ul>

→今回の新制度により、教育委員会の活性化・機能強化を推進していることからこの文言が入ったのだと思う。基本方針の文章の中で教育委員会に関することが記載されているので、削除しても構わないと思う。(新谷教育長)

## (2) 今後のスケジュールについて

- ・本日の意見を反映した教育大綱（案）について、総合教育会議の構成員と教育関連の委員の委員長とで意見交換の会議を開催したいと考えている。

参加いただく委員は、社会教育委員の委員長、歴史文化伝承館運営委員会委員の委員長、図書館協議会委員の委員長、スポーツ推進審議会委員の委員長、文化財保護審議委員会委員の委員長の5名で、そこでの意見を考慮したものを秩父市教育大綱の内容として確定させる予定。

なお、平成28年3月の秩父市議会定例会への提示をもって最終的な完成とする予定。(事務局)

## ○その他

- ・市長部局の福祉分野と教育とは密接に関連している。この観点を盛り込めないか。特に子ども・子育て支援の新制度に関しては、文部科学省、厚生労働省、内閣府で進めており、予算は内閣府に集中させている。地方ではどのような体制で推進するかについては、各自治体の判断。(新谷教育長)

- ・フィンランドのプレスクールは幼児教育の段階で、例えば、人の話は静かに聞くなど、小学校での学びのための準備教育をしっかりと行っている。また、イギリスでは4歳の子供でも例えば善悪についても分かるような幼児教育を進めている。

日本でも保育所を含めた幼児教育は重要である。長期的には学力向上にも資するものであり、ひいては若年層の家族が秩父に住みたいという思いにもつながると思う。保育所は市長部局の分野になるが、今後議論することにより、幼稚園・保育所での幼児教育に前述のような教育を施すことも考えていきたい。(新谷教育長)

→とても興味深い話である。プレスクールのような教育を秩父の幼稚園・保育所でも進めたい。予算化してでもやっていくべきと思う。(久喜市長)

- ・また、放課後児童クラブ（いわゆる学童保育）は厚生労働省所管だが、市では教育委員会が所管している。国の所管に合わせると福祉

部が持つべきだろうが、子ども・子育て支援新制度という観点からの所管の検討が必要である。また、ここで学力向上の取組みを進めるということも考えられる。この点についても、この総合教育会議で議論していければと思う。(新谷教育長)

→これについても今後議論をしていきたいが、教育長が中心となって、まずは事務レベルで勉強会を行ってほしい。(久喜市長)

以上